

Lightning Experience
インストールガイド

2021 年 3 月 10 日

第 2 版

株式会社 Fleekdrive

目次

1 はじめに 3
2 インストール 4
3 使用前の準備 10
3.1 ユーザ情報のレイアウトの設定 10
3.2 翻訳設定 13
4 初期設定 16
4.1 Fleekform 用システム管理者設定 16
4.1.1 セットアップ方法の選択 16
4.1.2 トライアル実施者の情報を入力 17
4.1.3 セキュリティトークンを使用した再セットアップ 19
4.2 Fleekform 使用前に必要なその他設定について 19
4.2.1 ユーザの Fleekform 設定の編集 19
4.2.2 Fleekform 管理者権限の割り当て 23
4.2.3 プロファイル・オブジェクト権限設定 24
4.2.4 オブジェクトレコードの共有設定 26
4.3 Salesforce コミュニティユーザが Fleekform メニューを使用する場合 27
4.3.1 デジタルエクスペリエンス（コミュニティ）の有効化 27
4.3.2 Fleekform のタブ表示設定 27
4.3.3 コミュニティユーザ向けプロファイル・オブジェクト権限設定 31
4.4 パッケージインストール後に有効化したプロファイルについて 34
4.4.1 インストール後に有効化したプロファイルの場合 34
4.5 インストール後に手動設定が必要なプロファイルについて 37
4.5.1 プロファイル毎の手動設定 38
4.6 コミュニティまたはポータルを使用する外部組織の共有設定 38
5 アンインストール 39
5.1 アンインストール対象の確認 39
5.2 ページレイアウト割り当てを変更 39
5.3 Lightning Experience 用の Visualforce ページを削除 42
5.4 アンインストールの実行 43
6. 注意事項 46
6.1. 認証について 46
6.2. カスタマイズについて 46

1　はじめに

この度は、Fleekform をご利用頂き誠にありがとうございます。Fleekform は、salesforce では不足しがちな帳票機能を補完するとともに、Fleekdrive と一緒にご利用になることで、印刷から PDF 出力、文書管理まであらゆる運用を効率化することもできるようになりました。

Fleekform は AppExhange アプリケーションなので、セールスフォースへのインストールも簡単、すぐに利用することができます。

本書は、Fleekform に関するインストール及び、設定、salesforce での操作に関するガイドです。Fleekform の使用方法は、別紙、Fleekform ユーザガイドを参照願います。

2　インストール

Fleekform をインストールするには Chatter が有効化されている必要があります。

インストールする Salesforce 組織で Chatter が無効となっている場合は、事前に有効化してからインストールを行ってください。

Web ブラウザで AppExchange サイトを開き、「Fleekform」を検索して、「今すぐ入手」ボタンをクリックし、インストールを行います。

図 2-1



利用規約の同意にチェックを付け、「サイトに移動」ボタンをクリックします。

図 2-2



パッケージインストール組織を選択します。

図 2-3



Salesforce のログイン画面が表示されますので、インストール先となる Salesforce 組織の「システム管理者」プロファイルの権限をもつユーザでログインします。

図 2-4



パッケージインストールの詳細画面が表示されます。「特定のシステム権限のインストール」チェックボックスをオンにして、利用させる予定のないユーザのアクセス権限を外してください。
ただし、後のステップで設定することになるライセンスを持つユーザ以外は利用できませんので、ここでは、すべてのユーザシステム権限にフルアクセスの権限を与える設定をしても問題ありません。

※このステップでデフォルト選択の「管理者のみのインストール」のまま進んでしまうと、システム管理者以外のシステム権限が設定されたユーザでは、別途手動で設定しないと Fleekform を使用できなくなりますのでご注意ください。

図 2-5



サードパーティアクセスの承認画面が表示されますので、内容を確認した上、許可をチェックして、「次へ」ボタンをクリックして、インストールを続行します。

図 2-6



1～2 分程度で次の処理中画面が表示されます。

図 2-7



8～10 分程度でインストールが完了します。

インストールが完了すると、インストールを実行したユーザ宛てにメールを送信します。

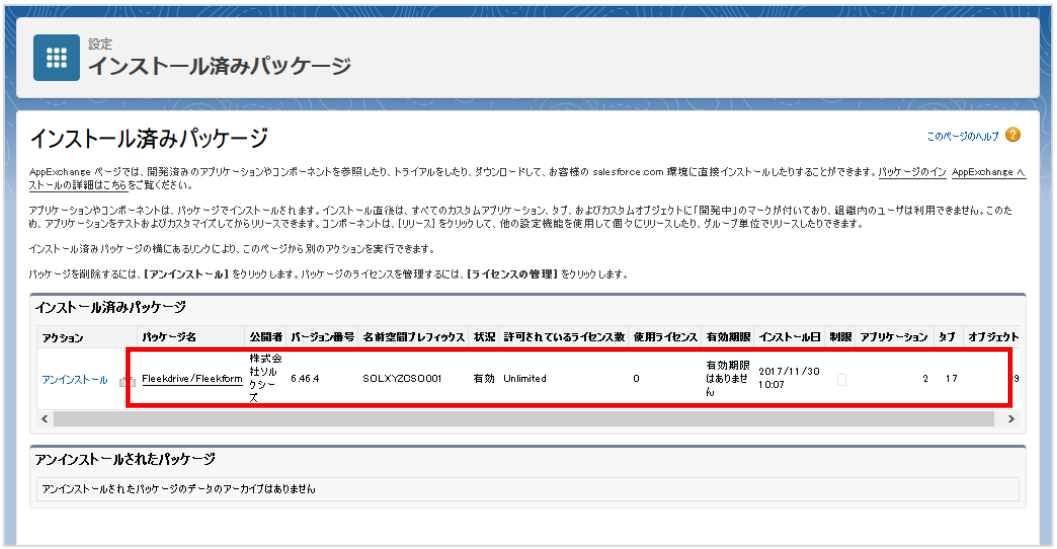
タイトル:「パッケージ「”Fleekdrive/Fleekform“」のインストールに成功しました」

画面は「処理中」のまま変更されませんが、このメールが届いたらインストール完了です。

メールが届いたら「インストール済みパッケージ」を確認します。

メニュー:設定＞プラットフォームツール＞アプリケーション＞インストール済みパッケージ

図 2-8



アプリケーションランチャーに「Fleekdrive」と「Fleekform」が追加されています。

図 2-9


アプリケーションランチャー
アプリケーションまたは項目を検索
AppExchange にアクセス
すべてのアプリケーション
サービス
取引先、取引先責任者、ケースなどと共にカスタマーサービスを管理します。
マーケティング
業界屈指のオンデマンドマーケティングオートメーション
コミュニティ
Salesforce CRM Community
Salesforce Chatter
Salesforce Chatter ソーシャルネットワーク (プロファイルとフィードを含む)
コンテンツ
Salesforce CRM Content
セールスコンソール
(Lightning Experience) 営業担当は複数のレコードを 1 つの画面で操作できます
サービスコンソール
(Lightning Experience) サポートエージェントは、カスタマーサービスチャネル全体に... さらに表示
セールス
取引先、リード、商談などと共にセールスプロセスを管理します。
マニュアル用
Fleekdrive
クラウド文書管理・ファイル配信ソリューション
Fleekform
クラウド帳票ソリューション
テスト

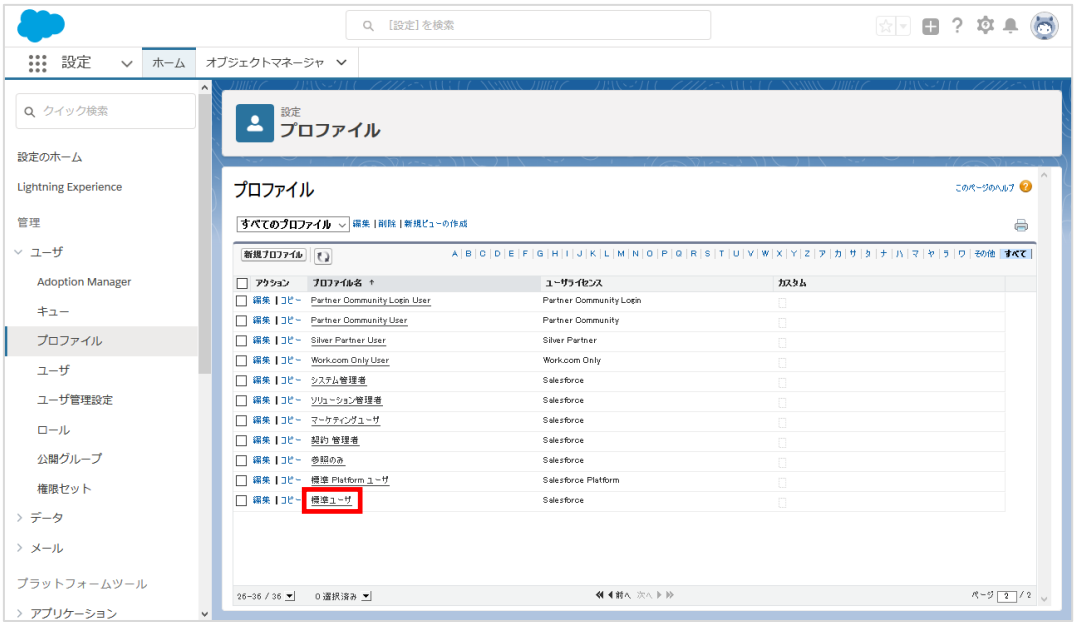
3　使用前の準備

3.1　ユーザ情報のレイアウトの設定

設定＞管理＞ユーザ＞プロファイル　を選択し、Salesforce プロファイルの一覧を表示します。

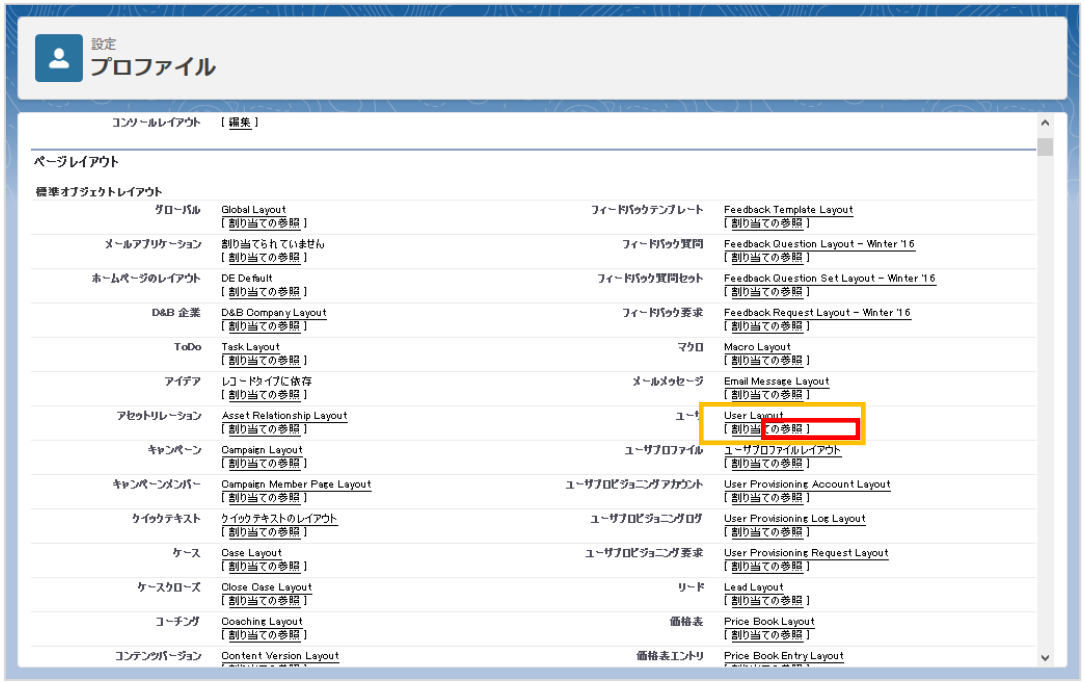
システム管理者や標準ユーザなど、Fleekform を使用されるユーザに設定するプロファイルを 1 つ選択し、編集画面を開きます。

図 3-1



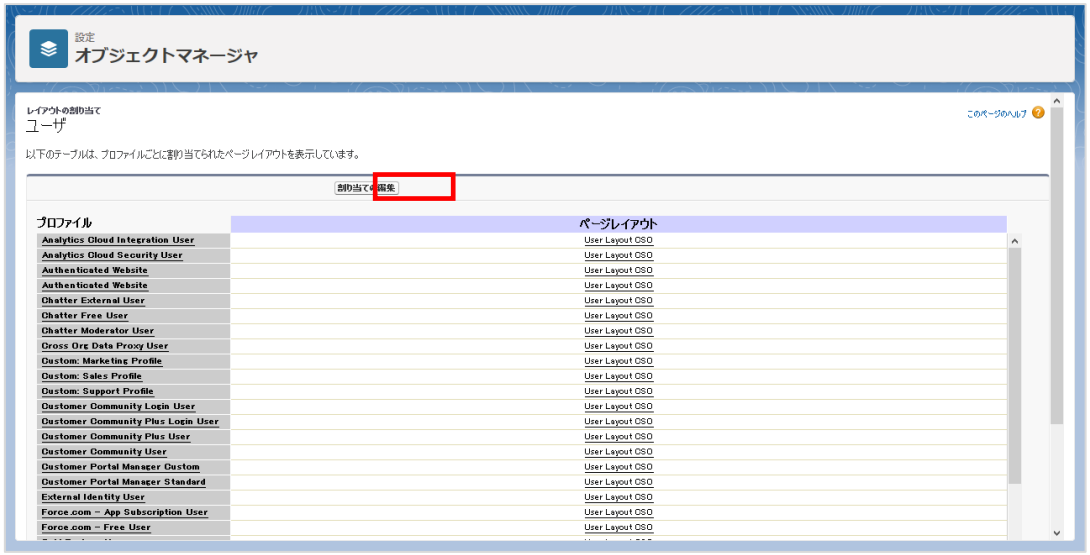
ページレイアウトの標準オブジェクトレイアウトにある「ユーザ」のレイアウトについて、「割り当ての参照」をクリックします。

図 3-2



「割り当ての編集」ボタンをクリックします。

図 3-3

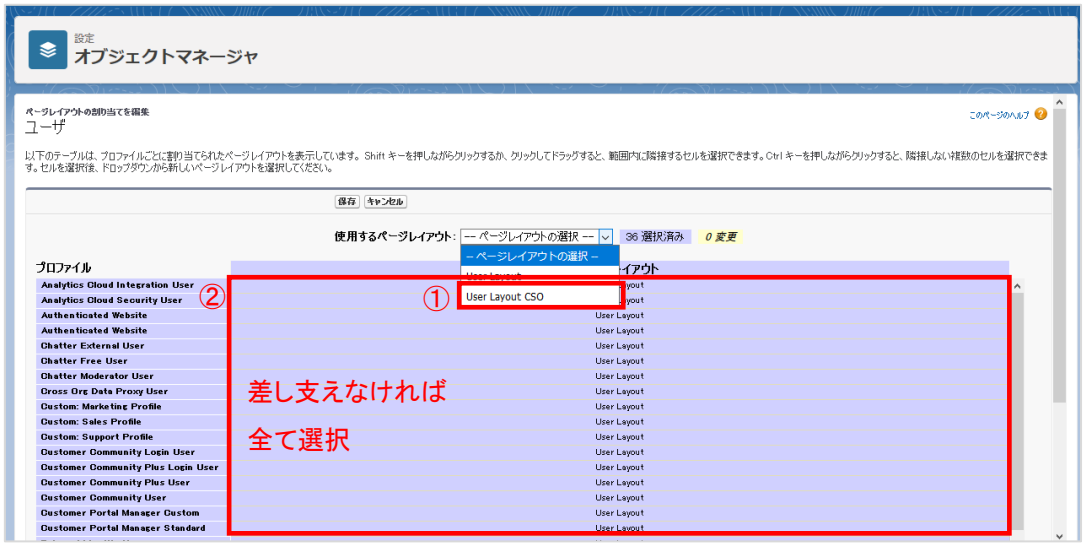


Fleekform を使用するユーザに設定する可能性がある Salesforce プロファイルを選択し、私用するページレイアウトで「User Layout CSO」を選択して変更してください。

※Salesforce のユーザライセンスの種類による制限はありません。

図 3-4 のように一部のプロファイルだけ設定することも、全て選択して設定することも可能です。

図 3-4



ページレイアウトの割り当て変更が選択し終わったら「保存」をクリックしてください。

図 3-5



設定＞管理＞ユーザ＞ユーザ、または、画面右上のユーザアイコンより自身の名前をクリックすると、Fleekform 用の設定項目が追加されています。

初期表示状態は全て空欄(未選択)です。

図 3-6

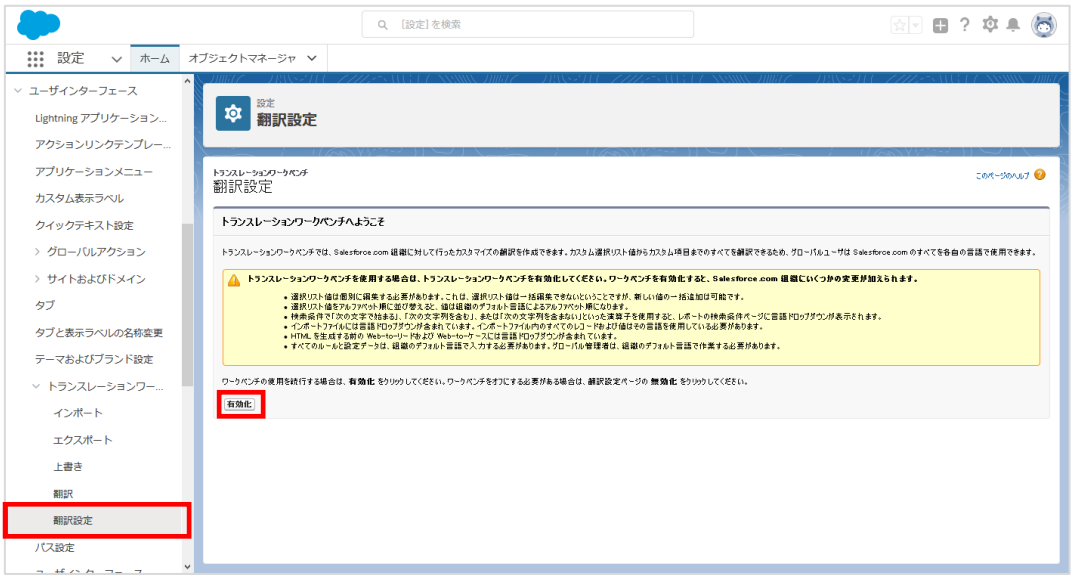


3.2 翻訳設定

Fleekform で対応する言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・ポルトガル語・スペイン語です。
Salesforce の個人情報に設定された言語で Fleekform メニューを表示する為に、下記の手順で翻訳設定を有効にしてください。

設定＞ユーザインターフェース＞トランスレーションワークベンチ＞翻訳設定を選択します。
トランスレーションワークベンチが有効化されていない場合は、「有効化」ボタンをクリックし、有効化してください。

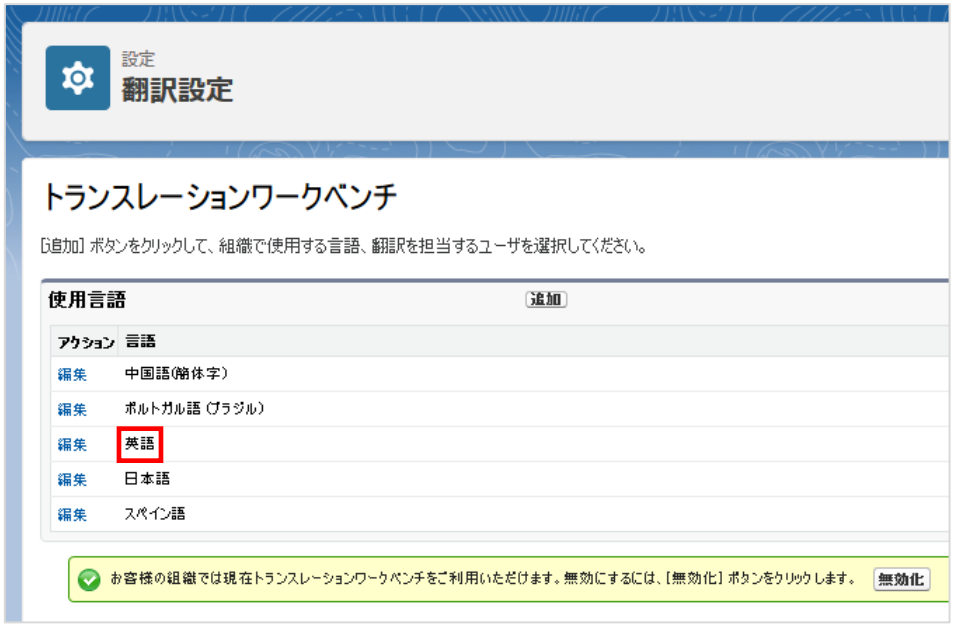
図 3-7



ユーザの言語設定で「英語」、「中国語(簡体字)」、「ポルトガル語」、「スペイン語」を使用する場合、初期状態では翻訳が無効のため、Fleekform メニューの画面表示が日本語のまま変更されません。以下の手順で有効化してください。

① 「英語」の「編集」をクリックします。

図 3-8



② 有効にチェックを入れて保存します。下側の翻訳者設定は不要です。

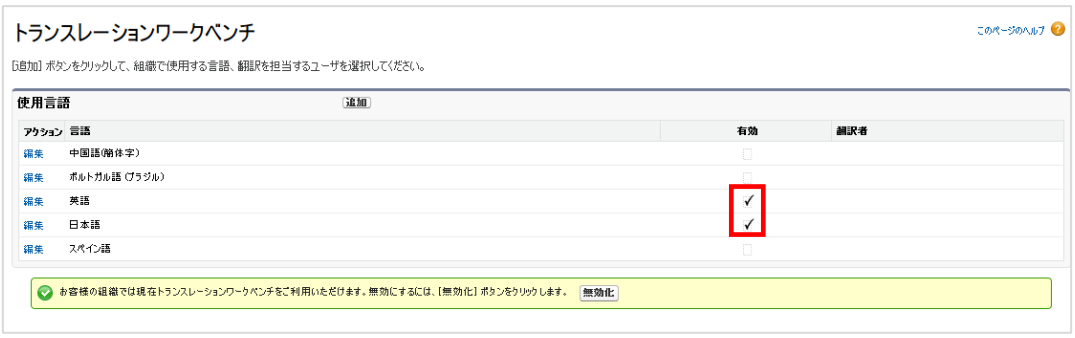
図 3-9



③　中国語(簡体字)、ポルトガル語、スペイン語も同様に有効化してください。

有効化した言語は図 3-10 のように表示されます。

図 3-10



※追加した言語は削除できません。不要な言語は、編集画面で「有効」のチェックを外します。

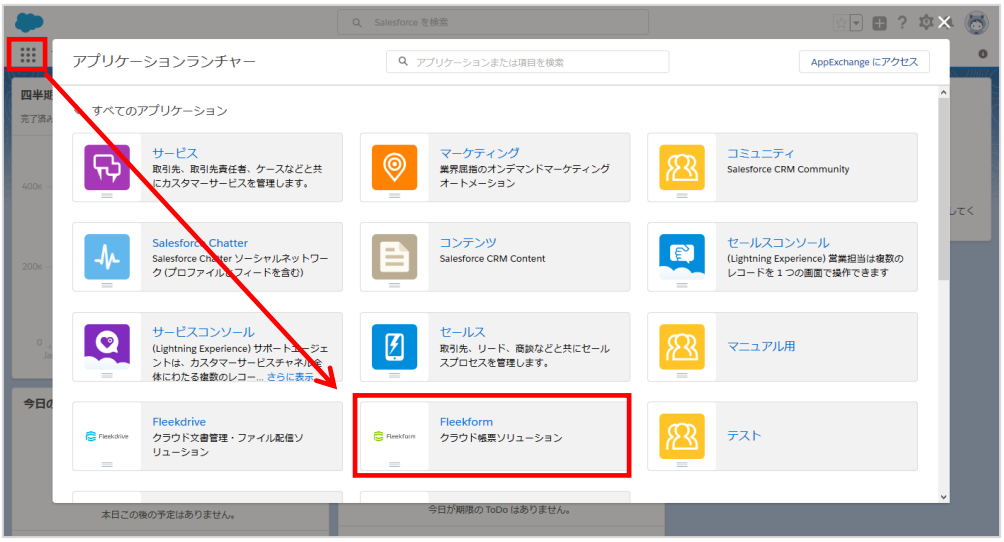
4　初期設定

Fleekform をインストール後、使用開始する前に Salesforce のシステム管理者が行う設定手順を説明します。

4.1　Fleekform 用システム管理者設定

アプリケーションランチャーより、「Fleekform」を選択して、Fleekform 用の画面へ移行します。

図 4-1



Fleekform のメニューである「Fleekform フォーム管理」か「Fleekform 設定」タブのいずれかをクリックすると Fleekform 用の初期設定ウィザードが開始されます。

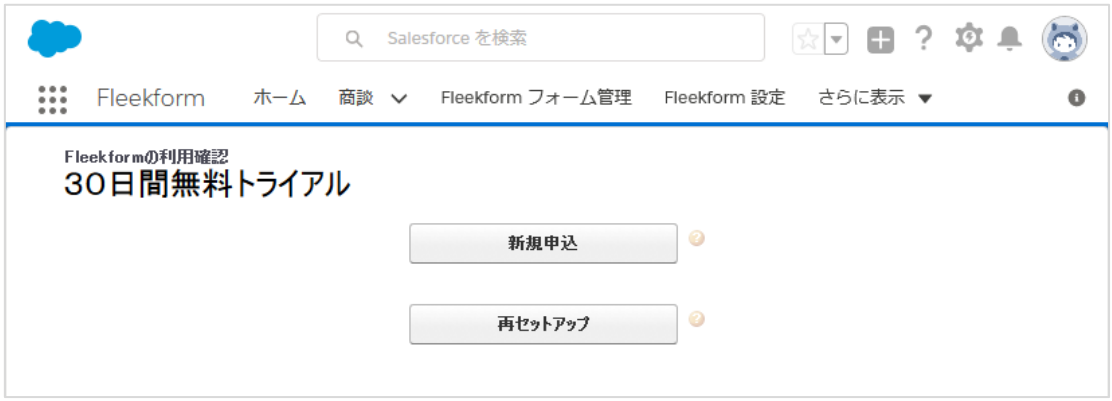
図 4-2



4.1.1　セットアップ方法の選択

新規申込またはセキュリティトークンを使用した再セットアップの選択をしてください。

図 4-3

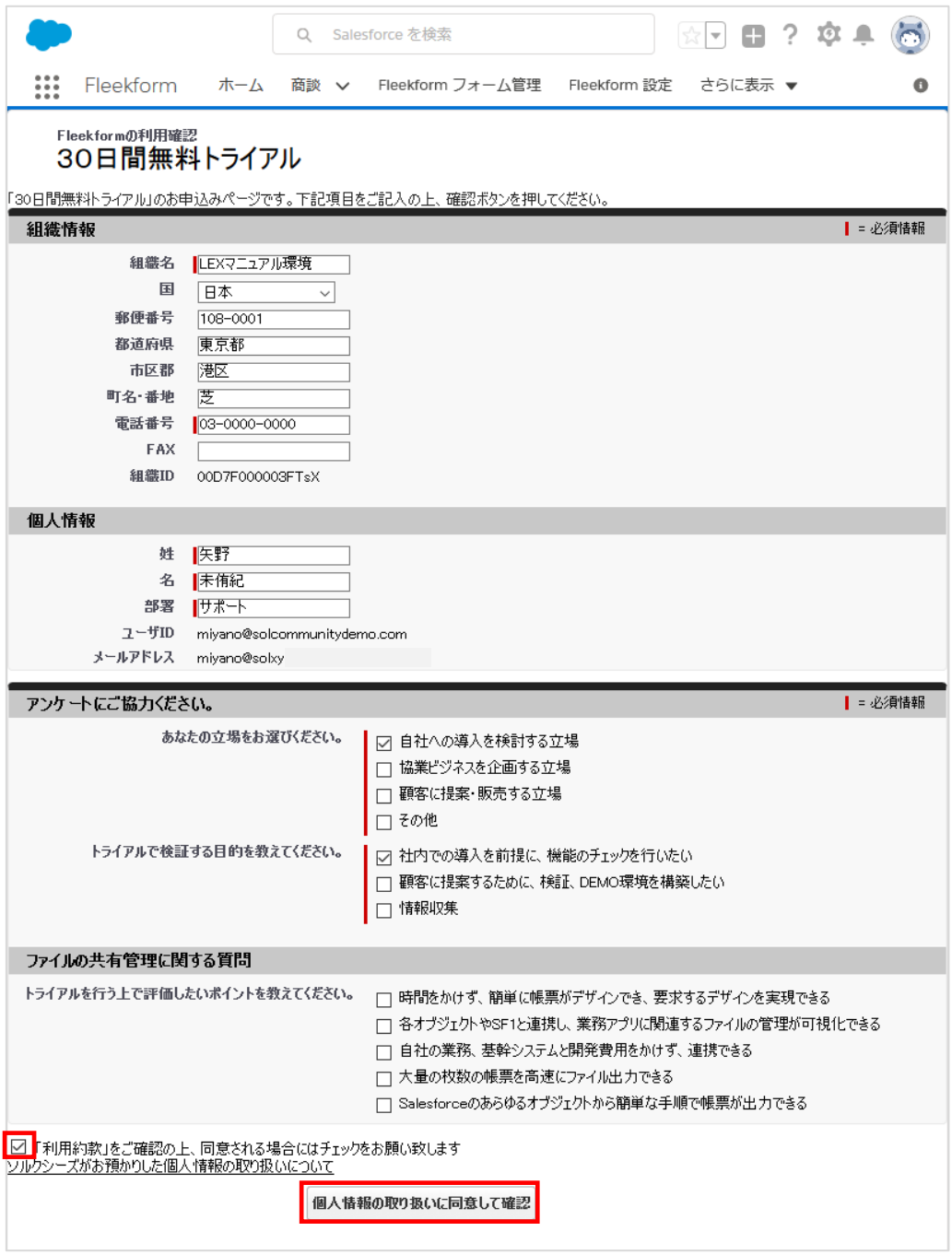


4.1.2 トライアル実施者の情報を入力

画面左下に弊社の個人情報の取り扱いについてのリンクがございますので、「利用約款」をご確認の上、同意される場合にはチェックをお願いします。

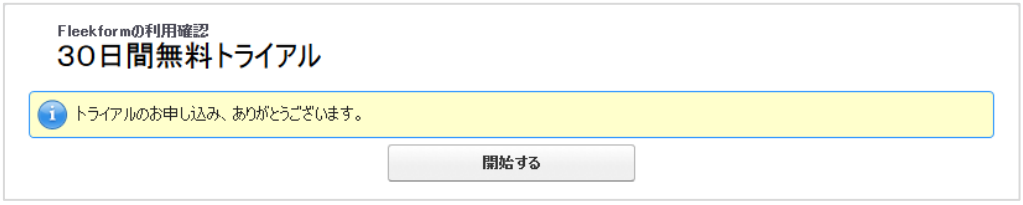
同意される場合は、「個人情報の取り扱いに同意して確認」ボタンをクリックして進みます。

図 4-4



お申込が完了しました。

図 4-5

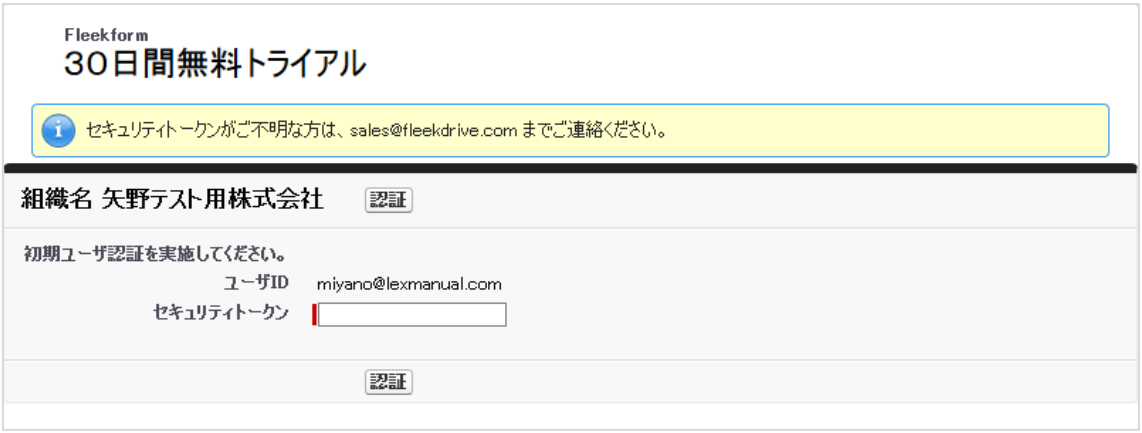


4.1.3 セキュリティトークンを使用した再セットアップ

Fleekform 初期ユーザのセキュリティトークンを入力し、「認証」をクリックしてください。Salesforce ユーザのセキュリティトークンとは異なりますので、ご注意ください。

Fleekform のトークンが不明な場合は、弊社サポートデスクまでお問い合わせください。

図 4-6



4.2 Fleekform 使用前に必要なその他設定について

Fleekform ユーザ作成後、Fleekform を使用する場合に Salesforce のシステム管理者が設定すべき項目を記述します。

4.2.1 ユーザの Fleekform 設定の編集

設定＞管理＞ユーザ＞ユーザを選択し、Salesforce のユーザー覧を表示します。

Fleekform 用の設定項目を確認・編集するユーザのユーザ名をクリックし参照します。

図 4-7

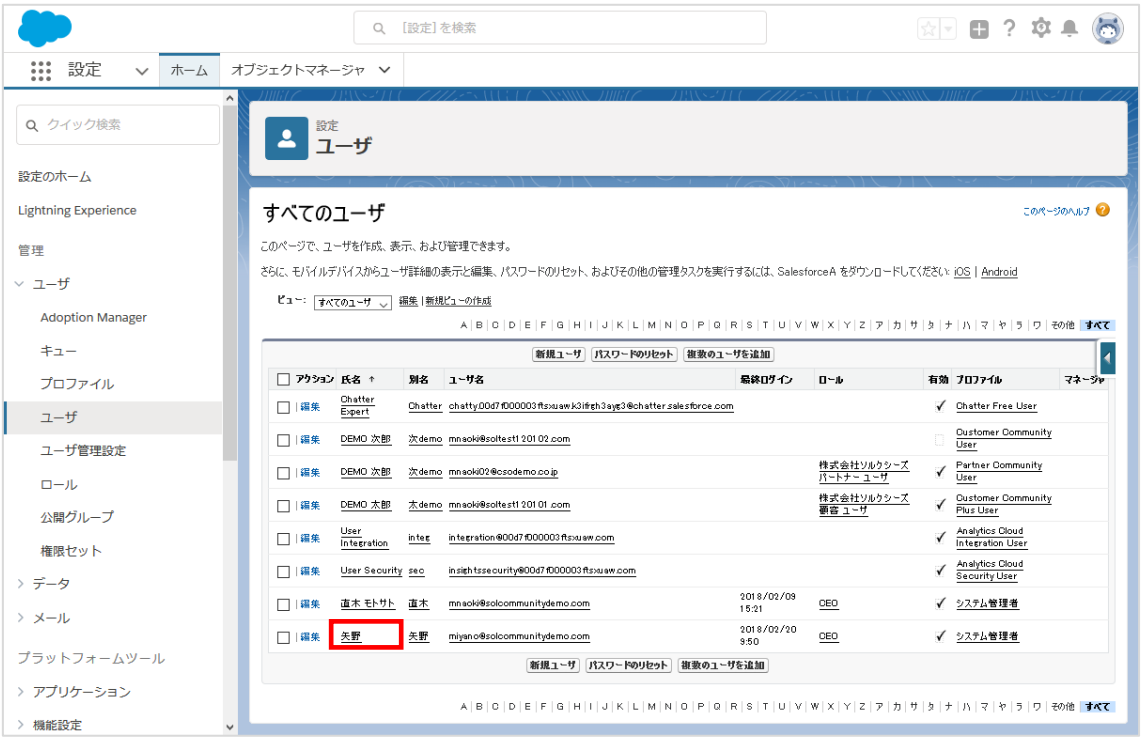
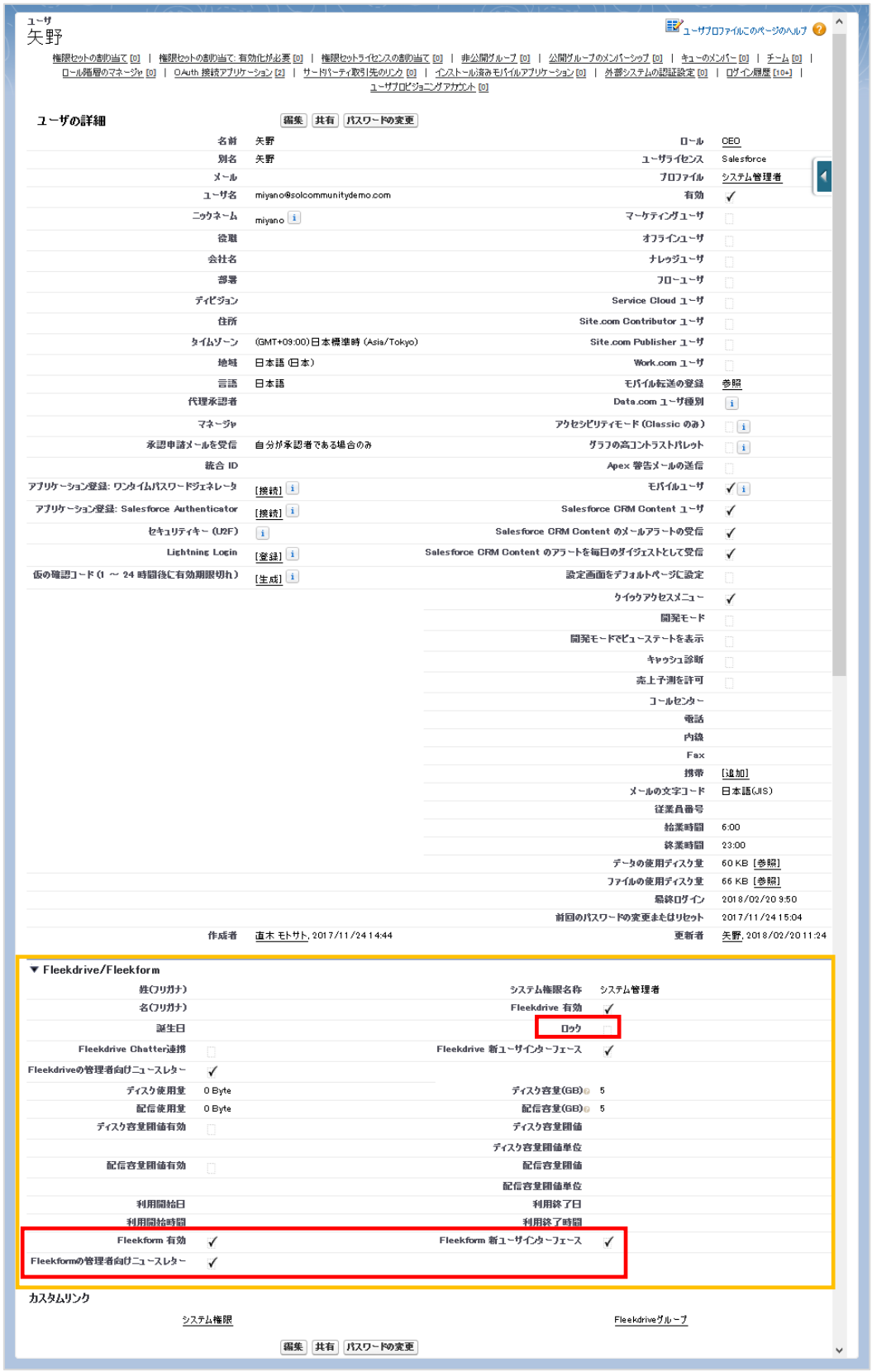


表 4-1 User Layout CSO の設定項目

項目	説明
姓(フリガナ)	初期値は空欄です。設定するとFleekform の画面表示でユーザ名のソートが正確になります。設定されたフリガナによるユーザ名検索も可能です。必要に応じて設定してください。
名(フリガナ)	
システム権限名称	※Fleekform では使用しません
Fleekdrive 有効	※Fleekform では使用しません
誕生日	※Fleekform では使用しません
ロック	初期設定はチェックなしです。自分自身のロック状態は変更できません。チェックするとそのユーザは Fleekform 機能を使用できなくなります。Fleekform 無効と異なり、Fleekform に保存されたデータと設定はそのまま残り、ロックのチェックを外せば使用可能になります。
Fleekdrive 新ユーザインターフェース	※Fleekform では使用しません
Fleekdrive Chatter 連携	※Fleekform では使用しません
Fleekdrive 管理者向けニュースレター	※Fleekform では使用しません
ディスク使用量	※Fleekform では使用しません
ディスク容量(GB)	※Fleekform では使用しません
配信使用量	※Fleekform では使用しません

配信容量(GB)	※Fleekform では使用しません
ディスク容量閾値有効	※Fleekform では使用しません
ディスク容量閾値	※Fleekform では使用しません
ディスク容量閾値単位	※Fleekform では使用しません
配信容量閾値有効	※Fleekform では使用しません
配信容量閾値	※Fleekform では使用しません
配信容量閾値単位	※Fleekform では使用しません
利用開始日	※Fleekform では使用しません
利用終了日	※Fleekform では使用しません
利用開始時間	※Fleekform では使用しません
利用終了時間	※Fleekform では使用しません
Fleekform 有効	チェックすると、Fleekform が有効(使用可能)になります。 自分自身の有効／無効は変更できません。 初めて Fleekform 有効にチェックした場合、Fleekform にユーザが作成されます。 ※Salesforce にユーザを新規作成する実行ユーザが Fleekform 有効化されていることを確認してください。(実行ユーザが Fleekform 有効でない場合、新規作成ユーザの Fleekform は有効化されません。) 既に Fleekform を使用しているユーザのチェックを外すと Fleekform が無効になり、使用できなくなります。
Fleekform 新ユーザインターフェース	ユーザインターフェースの新旧の切り替えが可能です。 ※ご契約のエディション・インストールパッケージのバージョンにより、チェックを外しても旧ユーザインターフェースをご利用いただけない場合があります。
Fleekform の管理者向けニュースレター	Fleekform 初期ユーザには初期設定でチェックが入ります。 チェックを入れると、サポートデスクからのメンテナンスメール等の案内を受け取ることができます。

図 4-8


ユーザ
矢野
ユーザプロファイルこのページのヘルプ
権限セットの割り当て [0] | 権限セットの割り当て: 有効化が必要 [0] | 権限セットライセンスの割り当て [0] | 非公開グループ [0] | 公開グループのメンバーシップ [0] | キューのメンバー [0] | チーム [0] | ロール階層のマネージャ [0] | OAuth 接続アプリケーション [2] | サードパーティ取引先のリンク [0] | インストール済みモバイルアプリケーション [0] | 外部システムの認証設定 [0] | ログイン履歴 [10+] | ユーザプロビジョニングアカウント [0]
ユーザの詳細
編集 共有 パスワードの変更
名前 矢野
別名 矢野
メール
ユーザ名 miyano@solcommunitydemo.com
ニックネーム miyano
役職
会社名
部署
ディビジョン
住所
タイムゾーン (GMT+09:00) 日本標準時 (Asia/Tokyo)
地域 日本語 (日本)
言語 日本語
代理承認者
マネージャ
承認申請メールを受信 自分が承認者である場合のみ
統合 ID
アプリケーション登録: ワンタイムパスワードジェネレータ [接続]
アプリケーション登録: Salesforce Authenticator [接続]
セキュリティキー (U2F)
Lightning Login [登録]
仮の確認コード (1 ～ 24 時間後に有効期限切れ) [生成]
作成者 直木 モトサト, 2017/11/24 14:44
ロール CEO
ユーザライセンス Salesforce
プロファイル システム管理者
有効
マーケティングユーザ
オフラインユーザ
ナレッジユーザ
フローユーザ
Service Cloud ユーザ
Site.com Contributor ユーザ
Site.com Publisher ユーザ
Work.com ユーザ
モバイル転送の登録 参照
Data.com ユーザ種別
アクセシビリティモード (Classic のみ)
グラフの高コントラストパレット
Apex 警告メールの送信
モバイルユーザ
Salesforce CRM Content ユーザ
Salesforce CRM Content のメールアラートの受信
Salesforce CRM Content のアラートを毎日のダイジェストとして受信
設定画面をデフォルトページに設定
クイックアクセスメニュー
開発モード
開発モードでビューステートを表示
キャッシュ診断
売上予測を許可
コールセンター
電話
内線
Fax
携帯 [追加]
メールの文字コード 日本語(JIS)
従業員番号
始業時間 6:00
終業時間 23:00
データの使用ディスク量 60 KB [参照]
ファイルの使用ディスク量 66 KB [参照]
最終ログイン 2018/02/20 9:50
前回のパスワードの変更またはリセット 2017/11/24 15:04
更新者 矢野, 2018/02/20 11:24
Fleekdrive/Fleekform
姓(フリガナ)
名(フリガナ)
誕生日
Fleekdrive Chatter連携
Fleekdriveの管理者向けニュースレター
ディスク使用量 0 Byte
配信使用量 0 Byte
ディスク容量閾値有効
配信容量閾値有効
利用開始日
利用開始時間
Fleekform 有効
Fleekformの管理者向けニュースレター
システム権限名称 システム管理者
Fleekdrive 有効
ロック
Fleekdrive 新ユーザインターフェース
ディスク容量(GB) 5
配信容量(GB) 5
ディスク容量閾値
ディスク容量閾値単位
配信容量閾値
配信容量閾値単位
利用終了日
利用終了時間
Fleekform 新ユーザインターフェース
カスタムリンク
システム権限
Fleekdriveグループ
編集 共有 パスワードの変更

4.2.2 Fleekform 管理者権限の割り当て

Salesforce のシステム管理者に必要な Fleekform 管理者権限の割り当て方法について記述します。

設定＞管理＞ユーザ＞ユーザからユーザを選択し、「ユーザの詳細画面」を開き、「権限セットの割り当て」項目の【割り当ての編集】ボタンを押下します。

図 4-9



「利用可能な権限セット」から「Fleekform 管理者権限(Salesforce ライセンス)」を選択し、「有効化された権限セット」に追加し、保存ボタンを押下してください。

※Fleekform 管理者権限の表示名は契約ライセンスによって異なります。

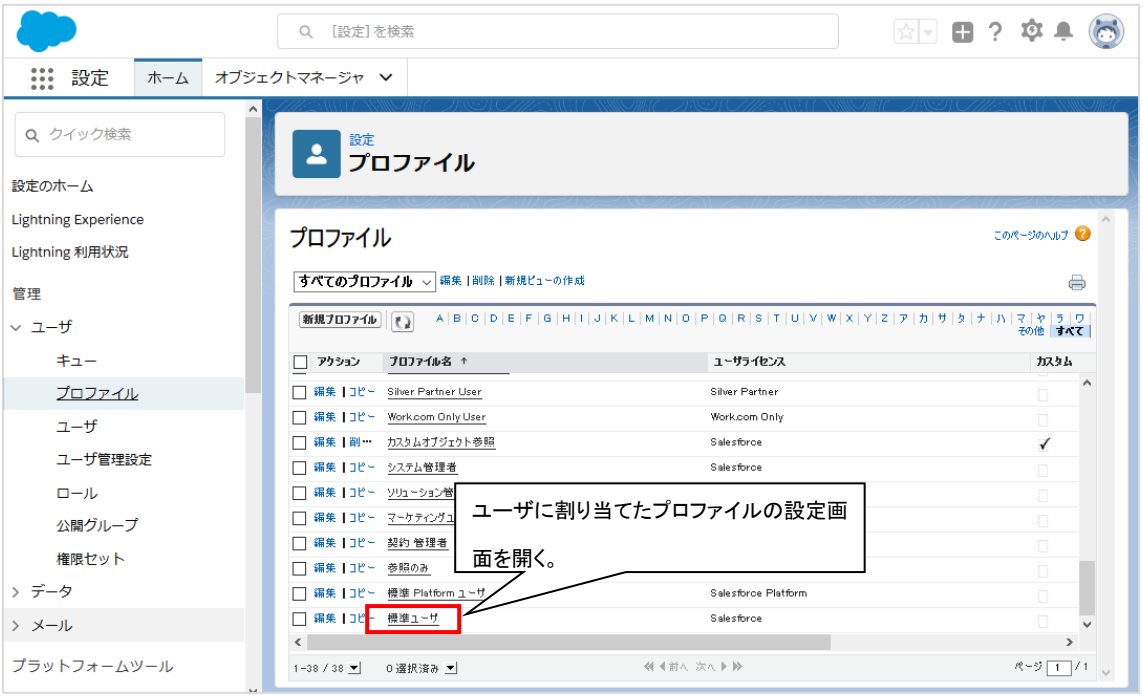
図 4-10



4.2.3 プロファイル・オブジェクト権限設定

設定＞管理＞ユーザ＞プロファイルから Fleekform を利用するユーザに割り当てられてプロファイルの「帳票定義」とカスタムオブジェクトのカスタムオブジェクト権限の参照権限を付与します。

図 4-11



以下のオブジェクト権限のすべてに対して参照権限を付与します。

【対象オブジェクト権限】

CSOAutoImage
帳票出力オブジェクト
帳票出力ルールマルチオブジェクトデータ値
帳票出力ルールユーザ入力値
帳票定義
帳票定義履歴
帳票出力履歴
マッピング
自動採番
ReportCopyTempData
ReportOutputRule
備考

図 4-12



プロファイルによってはオブジェクト項目の参照権限が付与されていないことがあります。

設定＞管理＞ユーザ＞プロファイルから項目レベルセキュリティのオブジェクトの「参照」をクリックし、詳細画面の「参照アクセス権」欄にチェックを付けます。

図 4-13



図 4-14



同様に、プロファイル＞項目レベルセキュリティ＞ユーザで以下の各項目の「参照アクセス権」欄にチェックをつけます。

・Fleekform の管理者向けニュースレター
・Fleekform 新ユーザインターフェース
・Fleekform 有効

図 4-15



Custom_標準ユーザプロファイルの ユーザ 項目レベルセキュリティ

このページのヘルプ

ユーザオブジェクトでは、項目レベルセキュリティはカスタム項目に対してのみサポートされ、標準項目に対してはサポートされていません。

編集 プロファイルに戻る

項目名	データ型	参照アクセス権	編集アクセス権
Count	数値	✓	
EmailAfter	メール	✓	✓
Fleekdrive Chatter連携	チェックボックス	✓	✓
Fleekdriveの管理者向けニュースレター	チェックボックス	✓	✓
Fleekdrive ライセンス	テキスト		
Fleekdrive 新ユーザインターフェース	チェックボックス	✓	✓
Fleekdrive 有効	チェックボックス	✓	✓
Fleekformの管理者向けニュースレター	チェックボックス	✓	✓
Fleekform 新ユーザインターフェース	チェックボックス	✓	✓
Fleekform 有効	チェックボックス	✓	✓
Link to User	テキスト	✓	
PersonalChangeRols	ロングテキストエリア	✓	✓
PersonalChangeRolsFlg	チェックボックス	✓	✓
システム権限名称	テキスト	✓	
システム権限名称(非表示対象)	テキスト	✓	✓
ディスク使用量	テキスト	✓	

4.2.4 オブジェクトレコードの共有設定

以下の対象オブジェクトのすべてに対して「公開/参照・更新可能」のアクセス権限を付与します。

【対象オブジェクト】

CSOAutoImage
帳票出力オブジェクト
帳票出力ルールマルチオブジェクトデータ値
帳票出力ルールユーザ入力値
帳票定義
帳票定義履歴
帳票出力履歴
マッピング
自動採番
ReportCopyTempData
ReportOutputRule
備考

図 4-16



4.3 Salesforce コミュニティユーザが Fleekform メニューを使用する場合

Salesforce コミュニティユーザと Fleekform メニューを共有する場合に、ユーザが設定すべき項目を記述します。

4.3.1 デジタルエクスペリエンス(コミュニティ)の有効化

Salesforce の設定＞機能設定＞デジタルエクスペリエンス＞すべてのサイトからワークスペースを表示し、管理＞設定からサイトを有効化済みであることが前提になります。

4.3.2 Fleekform のタブ表示設定

Fleekform のタブをコミュニティユーザが使用するには、サイトを“Salesforce タブと Visualforce”で作成する必要があります。

※その他のテンプレートで環境を構築する場合は、Fleekform タブを表示することはできません。

Salesforce の設定＞機能設定＞デジタルエクスペリエンス＞すべてのサイト メニューから、Salesforce タブと Visualforce で作成された既存サイトの「ワークスペース」をクリックします。

図 4-17



私のワークスペースの「管理」メニューをクリックします。

図 4-18



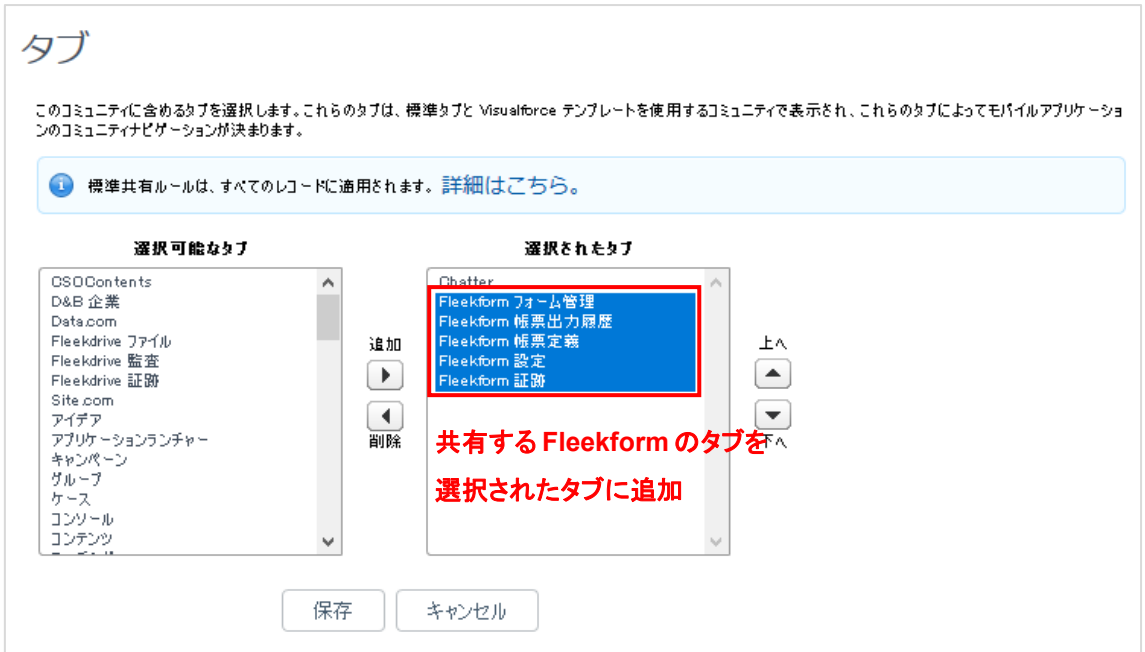
管理画面の「タブ」メニューをクリックします。

図 4-19



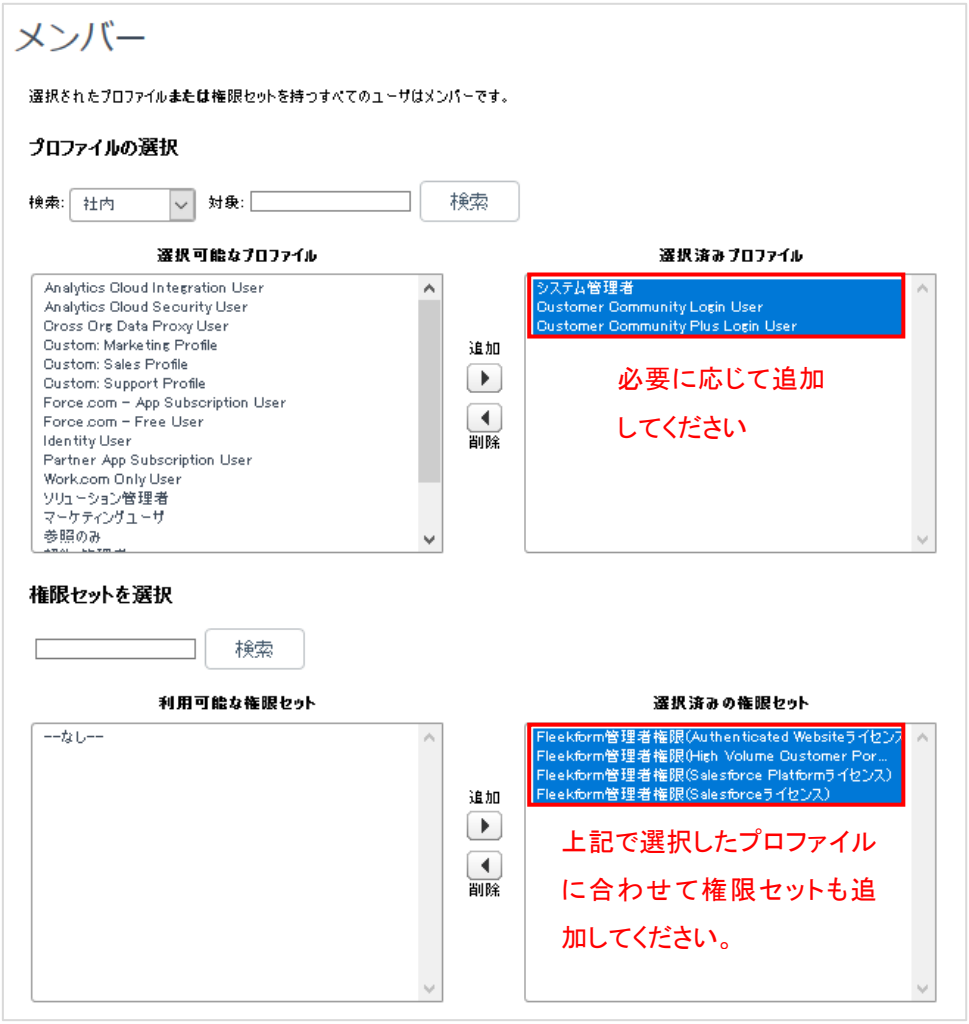
エクスペリエンスサイトに表示するタブを選択し、右側の選択されたタブに追加します。

図 4-20



同様に、左側にある「メンバー」をクリックし、メンバーの設定画面にてエクスペリエンスサイトを使用するプロファイルと、そのプロファイルに応じた「Fleekform 管理者権限」セットも追加して下さい。

図 4-21



この設定が適用されるユーザがログインすると、選択されたタブが表示され、ユーザの権限に応じた操作が可能になります。

図 4-22



4.3.3 コミュニティユーザ向けプロファイル・オブジェクト権限設定

設定＞管理＞ユーザ＞プロファイルから、コミュニティユーザに割り当てたプロファイルの「帳票定義」とその他のエクスペリエンスサイトで使用するカスタムオブジェクトのカスタムオブジェクト権限を許可状態にします。

図 4-23

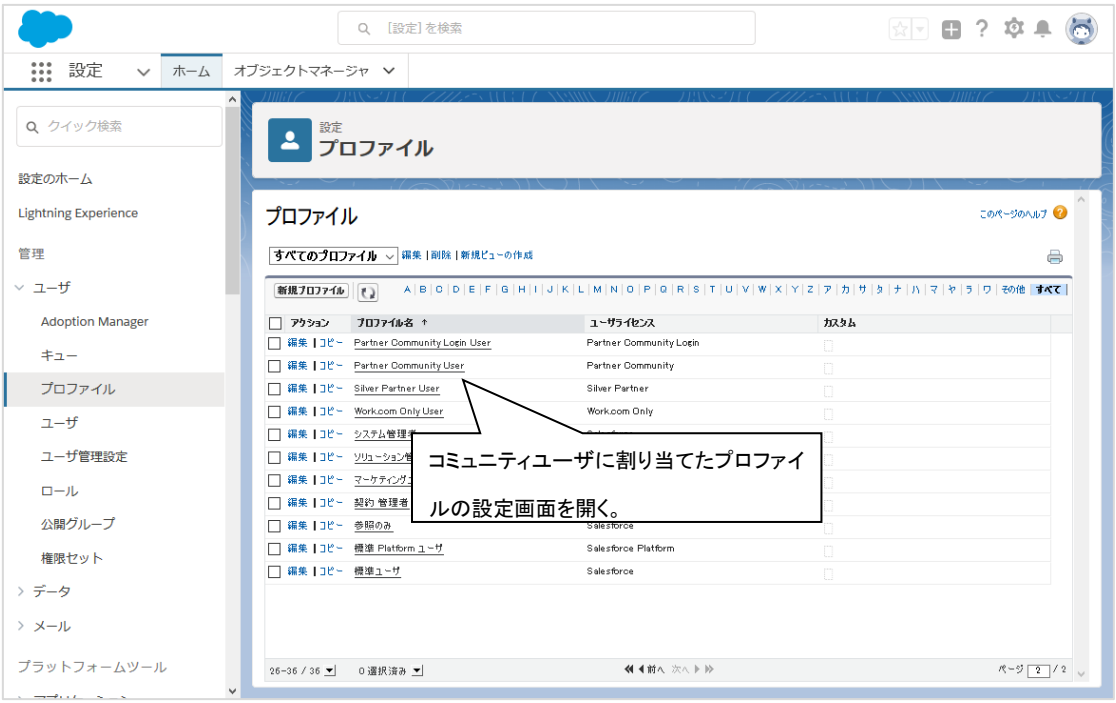


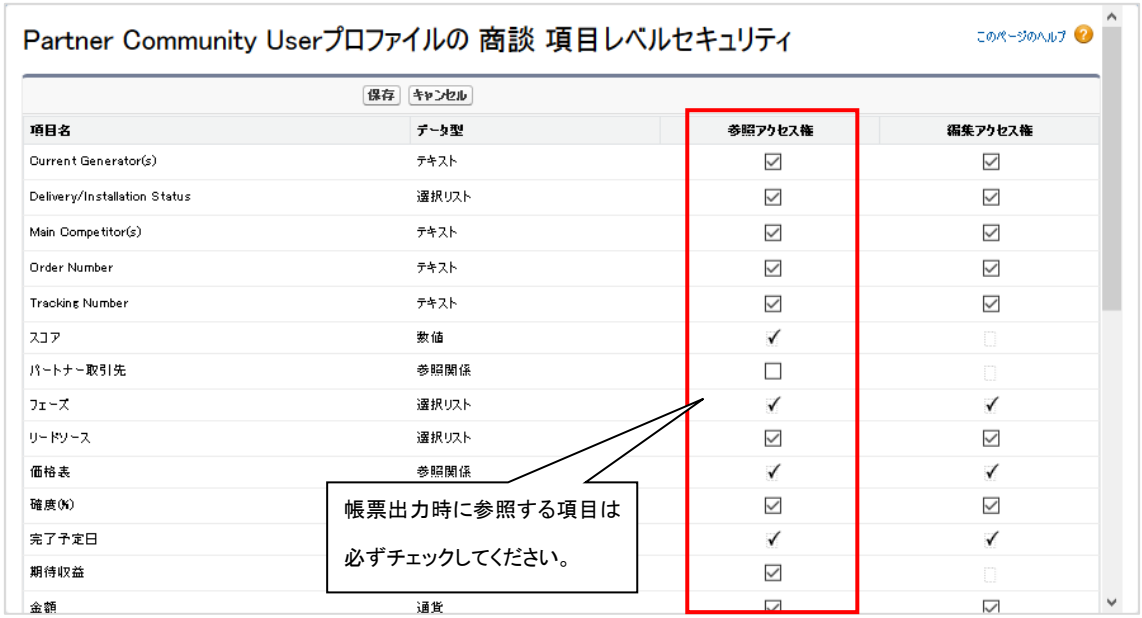
図 4-24



プロファイルによってはオブジェクトの項目の参照権限が付与されていないことがあります。設定＞管

理＞ユーザ＞プロファイルから項目レベルセキュリティのエクスペリエンスサイトで使用するオブジェト名をクリックし、詳細画面の「参照可能」欄にチェックをつけます。

図 4-25



プロファイルの詳細＞タブの設定にてエクスペリエンスサイトに追加するタブの表示を「デフォルトで表示」に設定して下さい。

図 4-26



タブの「Fleekform 帳票定義」から、コミュニティユーザが使用する帳票定義を開き、高度な設定の使用

できるユーザメニューにおいて、対象のユーザを選択済みに追加します。

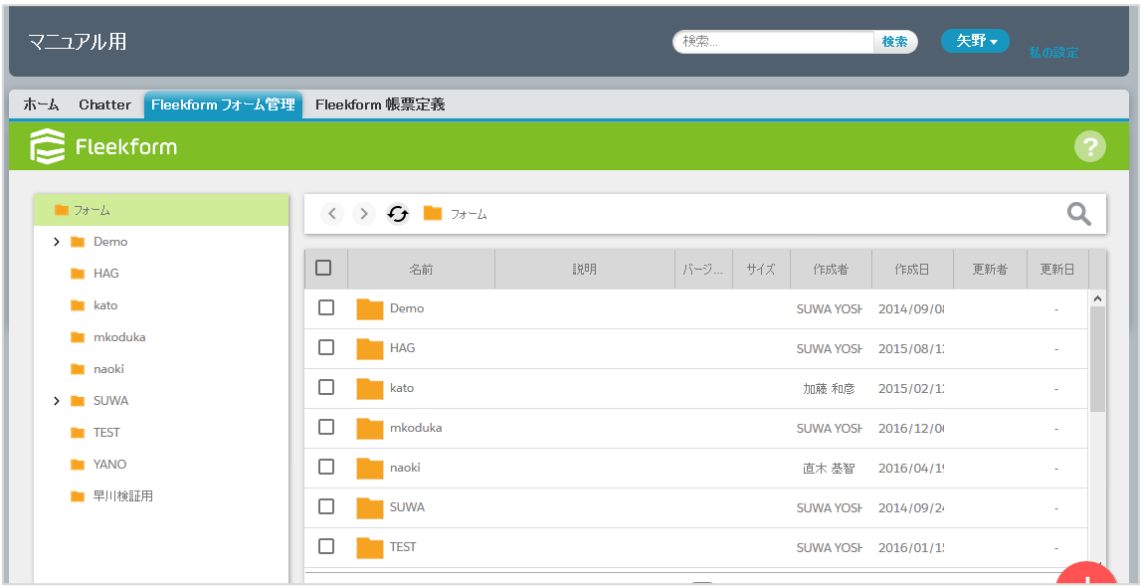
※カスタムオブジェクトの権限設定の際、「帳票定義」の“すべて表示”にチェックした場合、帳票定義オブジェクトに登録されているすべての帳票定義が表示されます。

図 4-27



この設定が適用されるユーザがログインすると、選択されたタブが表示され、Fleekform プロファイルの権限に応じた操作が可能になります。

図 4-28



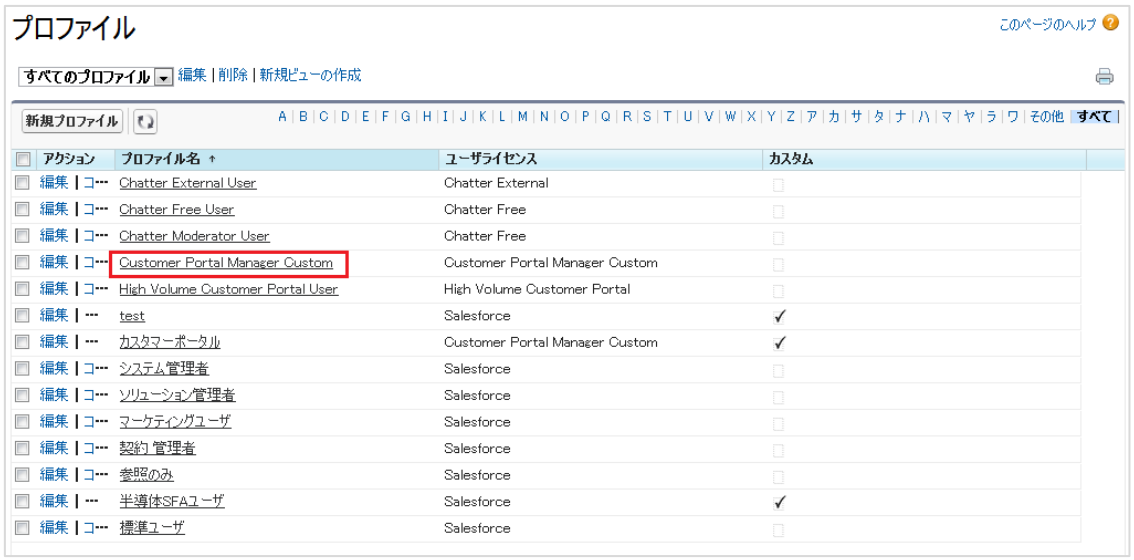
4.4　パッケージインストール後に有効化したプロファイルについて

コミュニティユーザ等、パッケージインストール前に有効化していない場合、手動で設定しないとFleekform の機能が使用できません。

4.4.1 インストール後に有効化したプロファイルの場合

設定＞管理＞ユーザ＞プロファイルで、後から有効化したプロファイルを選択します。

図 4-29



プロファイルにある「Apex クラス」「有効な Visualforce ページ」を確認します。

下の図のように Fleekform 用の Apex クラス名と Visualforce ページ名が一覧表示されている場合は以下の手順は不要です。（2件ずつに抜粋しています）

図 4-30

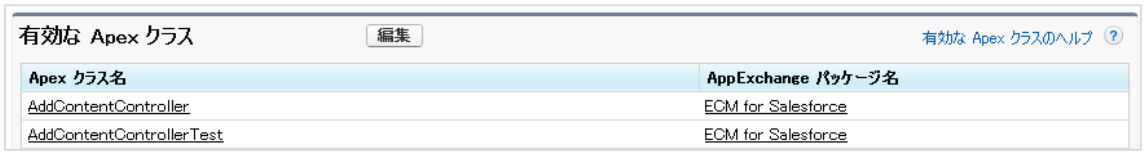
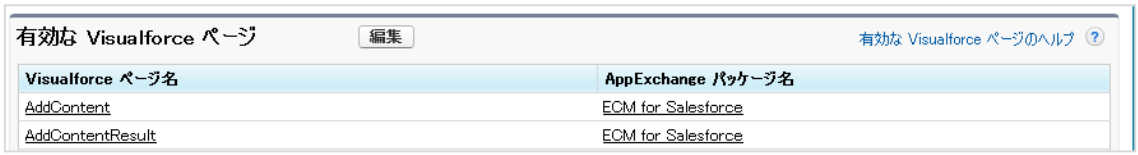
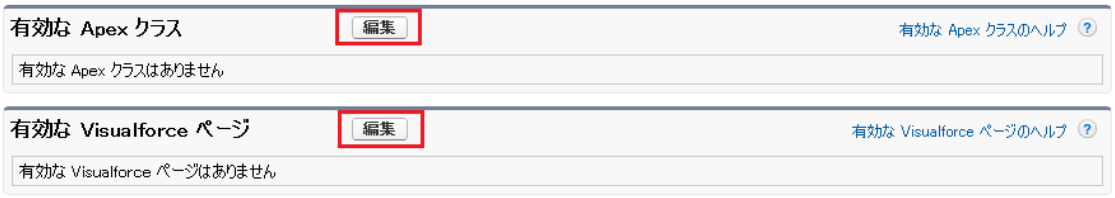


図 4-31



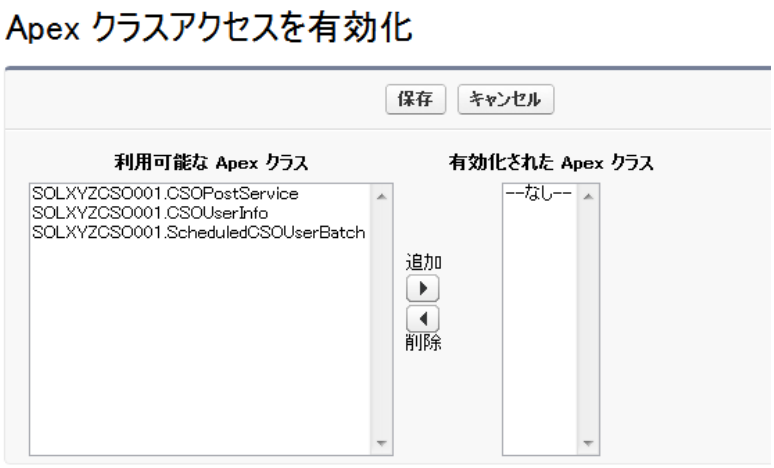
しかし、下記の様に「有効な Apex クラスはありません」「有効な Visualforce ページはありません」と表示される場合次の手順で有効化してください。

図 4-32



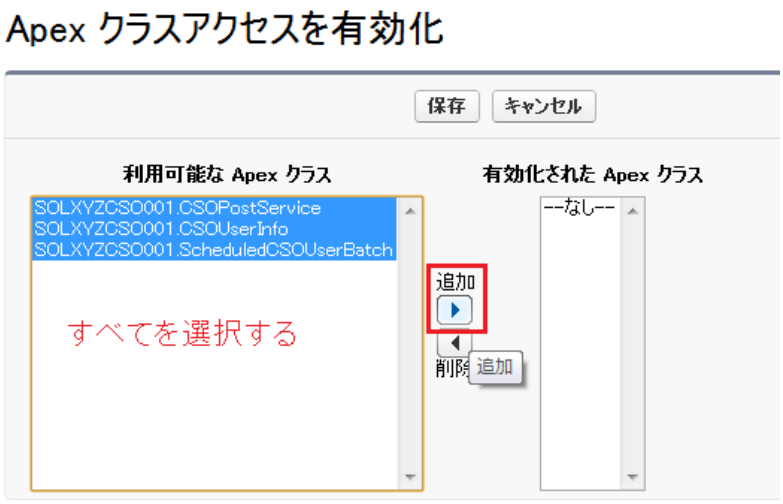
有効な Apex クラスの「編集」ボタンをクリックし、有効化画面を表示します。

図 4-33



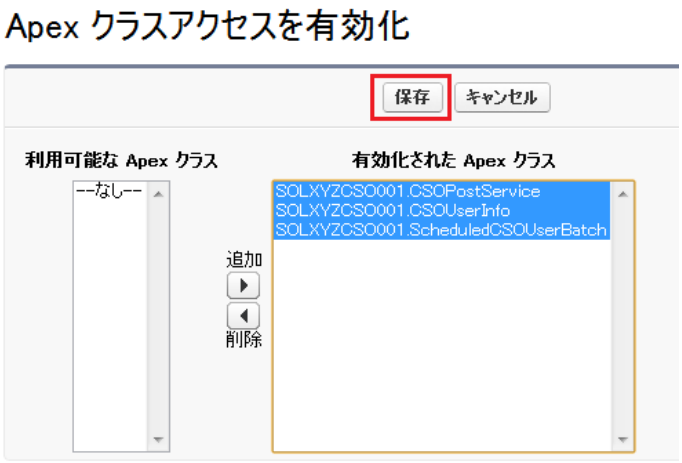
左側の「利用可能な Apex クラス」をすべて選択し、中央の「追加」ボタンをクリックします。

図 4-34



選択した全ての Apex クラスが右側の「有効化された Apex クラス」に移動したことを確認したら「保存」ボタンをクリックします。

図 4-35



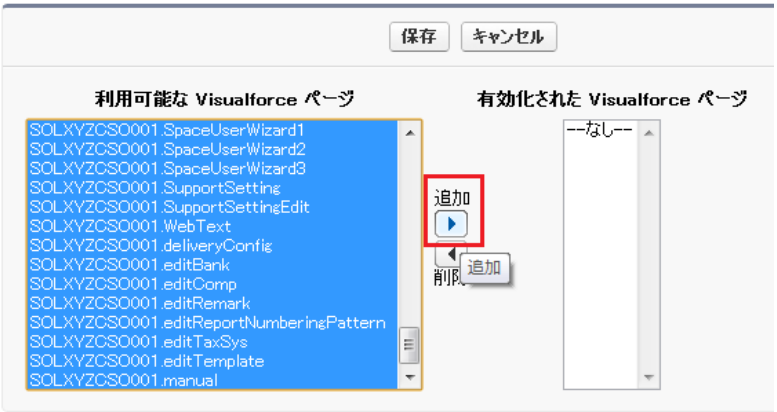
有効な Visualforce ページの「編集」ボタンをクリックし、有効化画面を表示します。

図 4-36



左側の「利用可能な Visualforce ページ」をすべて選択し、中央の「追加」ボタンをクリックします。

図 4-37



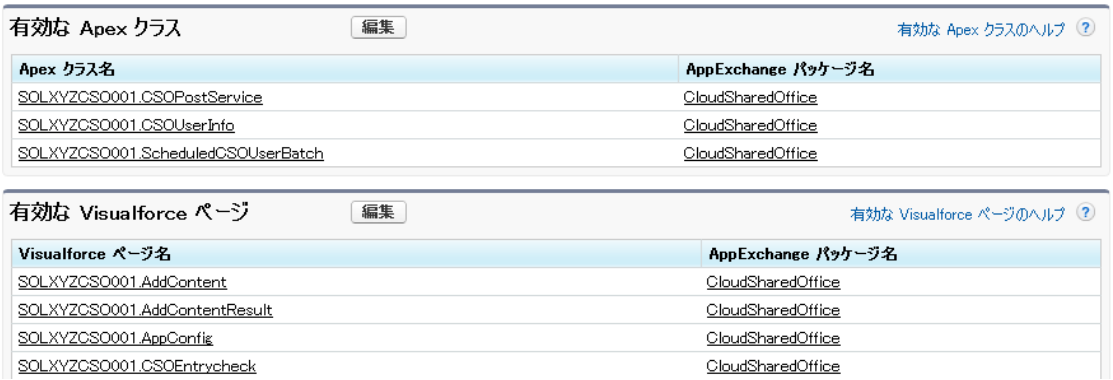
選択した全ての Visualforce ページが右側の「有効化された Visualforce ページ」に移動したことを確認したら「保存」ボタンをクリックします。

図 4-38



プロファイル画面で、有効な Apex クラスと Visualforce ページが一覧表示されたことを確認したら完了です。

図 4-39



インストール後に追加した Fleekform を使用するプロファイルが複数存在する場合は、すべて同様に設定してください。

4.5 インストール後に手動設定が必要なプロファイルについて

お客様の Salesforce ライセンスとユーザに設定されたプロファイルの種類によっては、パッケージをインストールしただけでは Fleekform メニューが使用できない状態になります。

4.5.1 プロファイル毎の手動設定

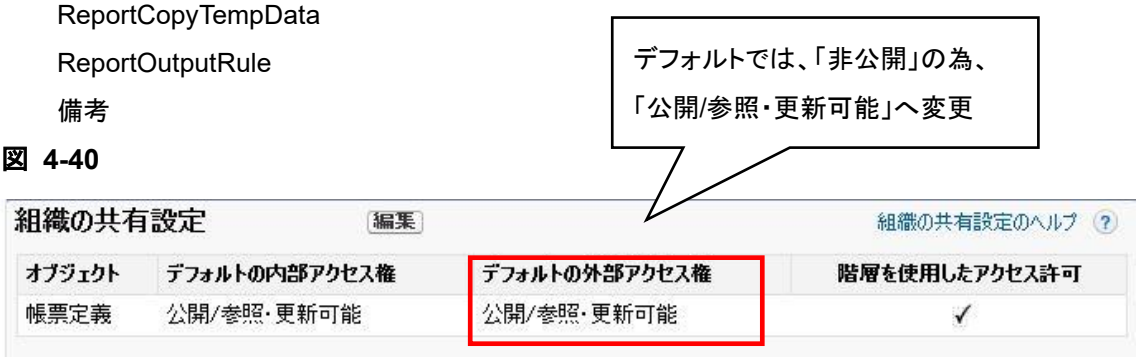
ライセンスの制限により、インストール後に Fleekform が使えないプロファイルの場合、4.4 パッケージインストール後に有効化したプロファイルについてと同様の手順で Apex クラスと Visualforce ページを有効化してください。

4.6 コミュニティまたはポータルを使用する外部組織の共有設定

新規インストールしたパッケージは、組織の共有設定の「デフォルトの外部アクセス権」が「非公開」がデフォルトとなっています。
外部ユーザを使用される場合には、手動で設定を行ってください。

1. 設定＞重要な更新で、「コミュニティまたはポータルを使用する組織で外部組織の共有設定を有効化」の「有効化」をクリックします。※デフォルトでは有効化されています。
2. 次に、外部ユーザのアクセスレベルを設定します。設定＞共有設定で、組織の共有設定から、Fleekform に関するオブジェクトのアクセスレベルを「公開/参照・更新可能」へ変更してください。
   【対象】
   CSOAutoImage
   帳票出力オブジェクト
   帳票出力ルールマルチオブジェクトデータ値
   帳票出力ルールユーザ入力値
   帳票定義
   帳票定義履歴
   帳票出力履歴
   マッピング
   自動採番
   ReportCopyTempData
   ReportOutputRule
   備考

図 4-40



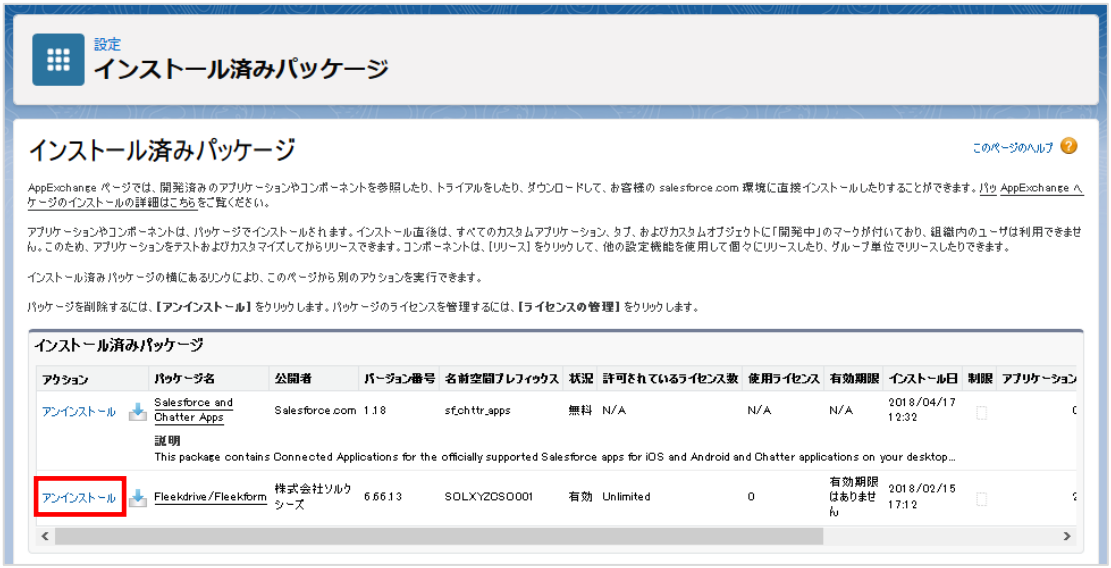
5　アンインストール

この節では、Fleekform のアンインストール方法を説明します。

5.1　アンインストール対象の確認

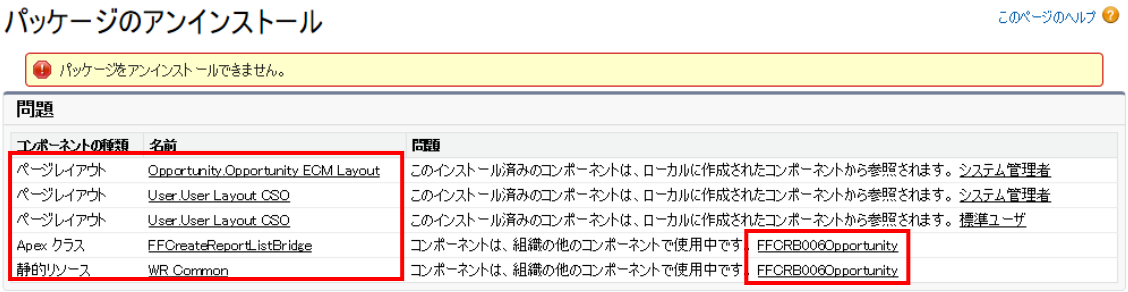
設定＞アプリケーションの設定＞インストール済みパッケージを表示すると、「Fleekdrive / Fleekform」が表示されます。

図 5-1



ここで「アンインストール」をクリックし、パッケージコンポーネントの一覧が表示された一番下の「アンインストール」ボタンをクリックしても、下記の様に設定済みの項目が表示されて、まだアンインストールの実行ができない状態です。

図 5-2



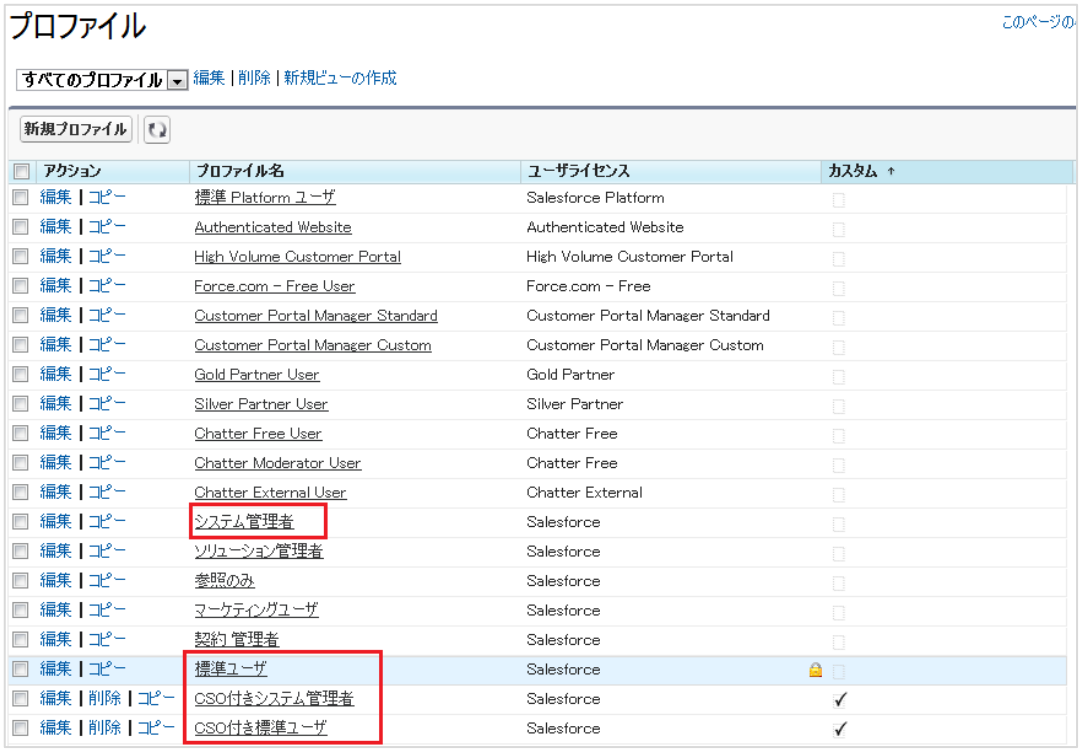
アンインストールするために、次の手順を実施してください。

5.2　ページレイアウト割り当てを変更

Fleekform 用のページレイアウトがユーザ情報で使用されています。(3.1 で設定)

設定＞管理者設定＞ユーザの管理＞プロファイルを選択し、プロファイルの一覧を表示します。

図 5-3



先程アンインストールできない理由として表示されたプロファイルの 1 つをクリックして参照します。

※不要なプロファイルであれば削除してもよいですが、「システム管理者」など、そのプロファイルを設定したユーザが存在する場合は削除できないので、下記の手順で行います。

図 5-4



プロファイルの詳細で、ページレイアウトの標準オブジェクトレイアウトにある「ユーザ」の「割り当ての参照」をクリックします。

図 5-5



「割り当ての編集」ボタンをクリックします。

「User Layout CSO」が設定されたプロファイルを選択し、使用するページレイアウトを「User Layout」に変更します。変更が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

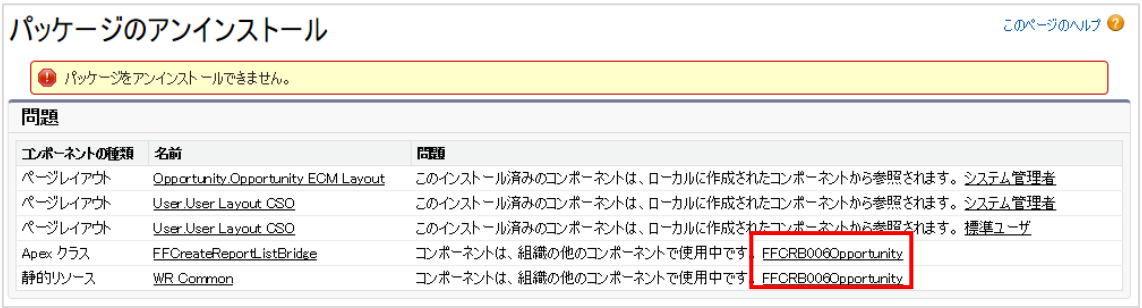
図 5-6



5.3 Lightning Experience 用の Visualforce ページを削除

5.1 でアンインストールを実行しようとした際に表示された Visualforce ページを削除します。

図 5-7



問題の欄に「コンポーネントは、組織の他のコンポーネントで使用中です。」の文言の後に記載されて

いる Visualforce ページ名をクリックし、開きます。

図 5-8



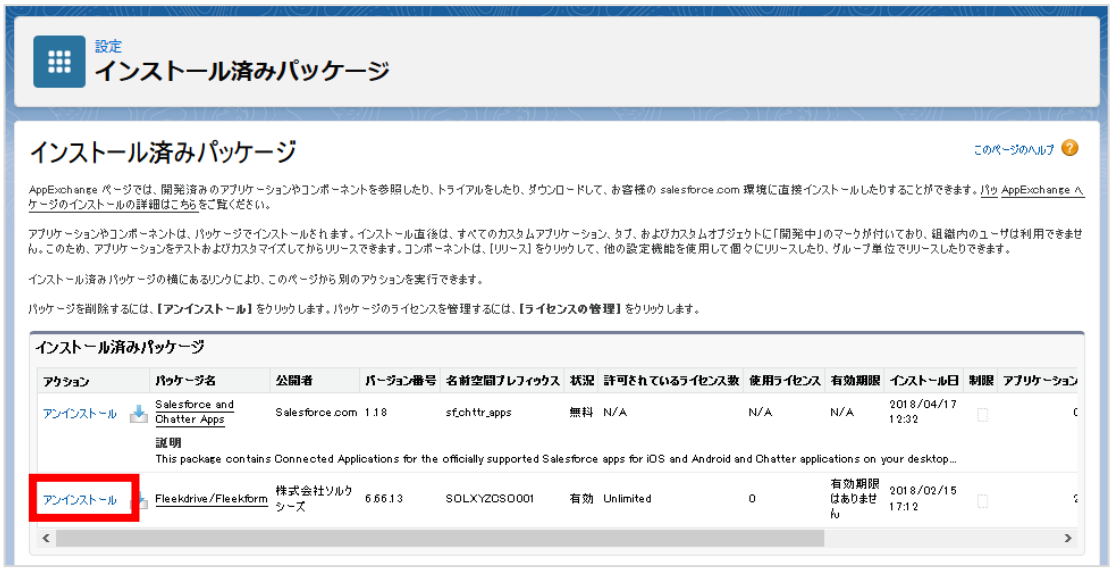
「削除」ボタンをクリックし、Visualforce ページを削除します。

5.4 アンインストールの実行

Fleekform のアンインストールを実行します。

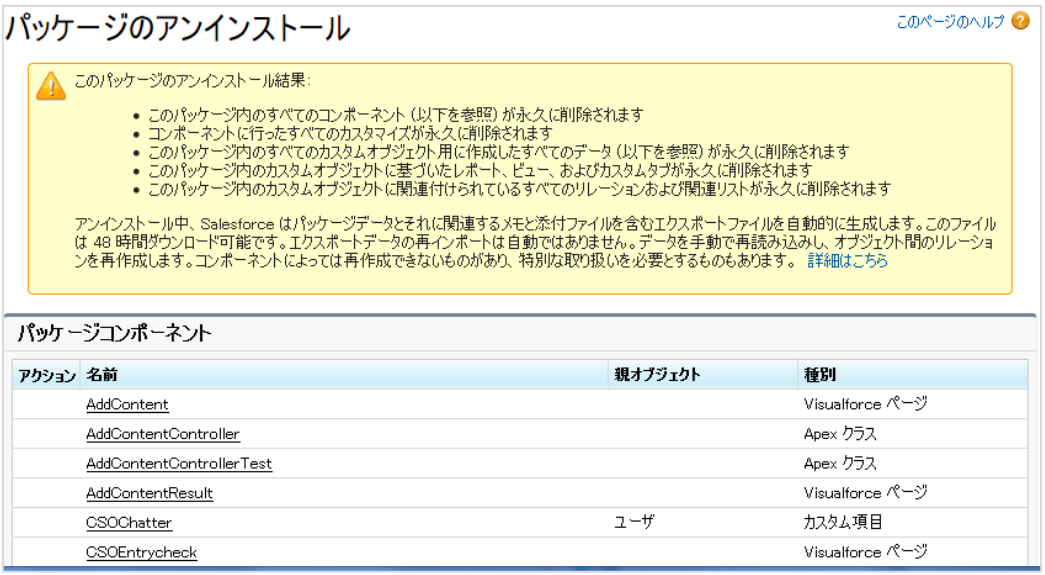
設定＞アプリケーションの設定＞インストール済みパッケージを表示すると、「Fleekdrive / Fleekform」が表示されます。

図 5-9



ここで「アンインストール」をクリックすると、注意事項と削除対象のパッケージコンポーネントの一覧が表示されます。

図 5-10



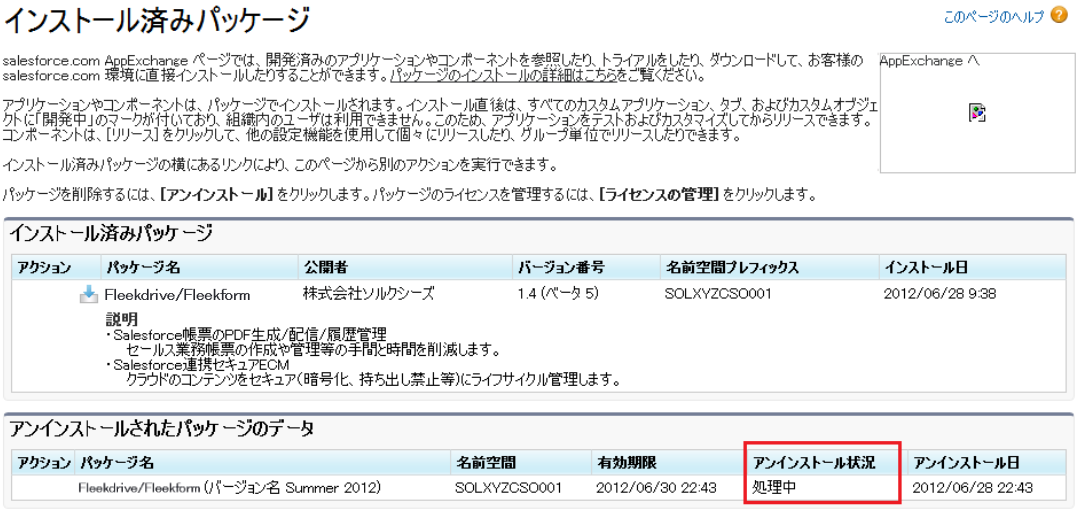
このページの一番下で、「はい」にチェックし、「アンインストール」ボタンをクリックしてください。

図 5-11



インストール済みパッケージの画面が表示され、アンインストールされたパッケージのデータに「処理中」と表示されます。

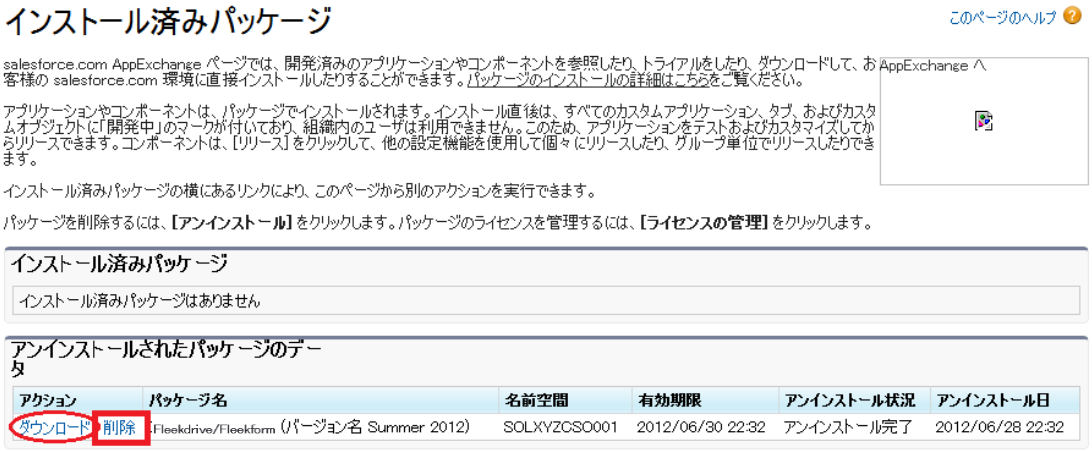
図 5-12



アンインストールが完了すると、実行したユーザにメールで通知されます。
タイトル：パッケージ「"Fleekdrive / Fleekform"」のアンインストールに成功しました

アンインストールされたデータを保存する必要がある場合、メールに記載された通り、48 時間以内にメールに書かれたリンクをまたは、インストール済みのパッケージ画面から、アンインストールしたパッケージに含まれるすべてのエクスポートデータを「ダウンロード」してください。

図 5-13



最後に、不要なアンインストール済みのパッケージデータを「削除」して完了です。

6. 注意事項

6.1. 認証について

Salesforce の設定＞設定＞セキュリティ＞セッションの設定で以下の項目にチェックを入れないで下さい。チェックを入れた場合、認証エラーとなり Fleekform が利用できません。

・「ログイン時の IP アドレスとセッションをロックする」

・「すべての要求でログイン IP アドレスの制限を適用」

Salesforce の設定＞管理＞ユーザの管理＞プロファイルの設定で以下の項目にチェックを入れないで下さい。チェックを入れた場合、認証エラーとなり Fleekform が利用できません。

・「IP 制限要求」

6.2. カスタマイズについて

Fleekform の標準機能及び API、帳票 SDK オプションで提供している機能、処理以外での呼び出しやカスタマイズなどは、アプリケーションでサポートされていません。

改訂履歴

改訂日	版数	改訂内容	改訂理由
2019/05/30	第 1 版	新規作成	新規作成
2021/3/10	第 2 版	修正	Salesforce での名称変更に伴い、コミュニティの表記をデジタルエクスペリエンスに変更（4.3.1）

Fleekform Lightning Experience インストールガイド
2021 年 3 月 10 日　第 2 版

株式会社 Fleekdrive
http://app.fleekform.com

Copyright (C) 2019 Fleekdrive Co., Ltd. All Rights Reserved.